

発行・編集 | 公益財団法人 公書地域再生センター(あおぞら財団)
555-0013 大阪市西淀川区千舟1丁目1-1 あおぞらビル4F
Tel: 06-6475-8885 Fax: 06-6478-5885
http://aozora.or.jp

アートディレクション・デザイン | 廣畑潤也
撮影 | 永田和幸 (WACOH)

tandem

001

タンDEM自転車 活動情報誌
2021.3

Activity Interview

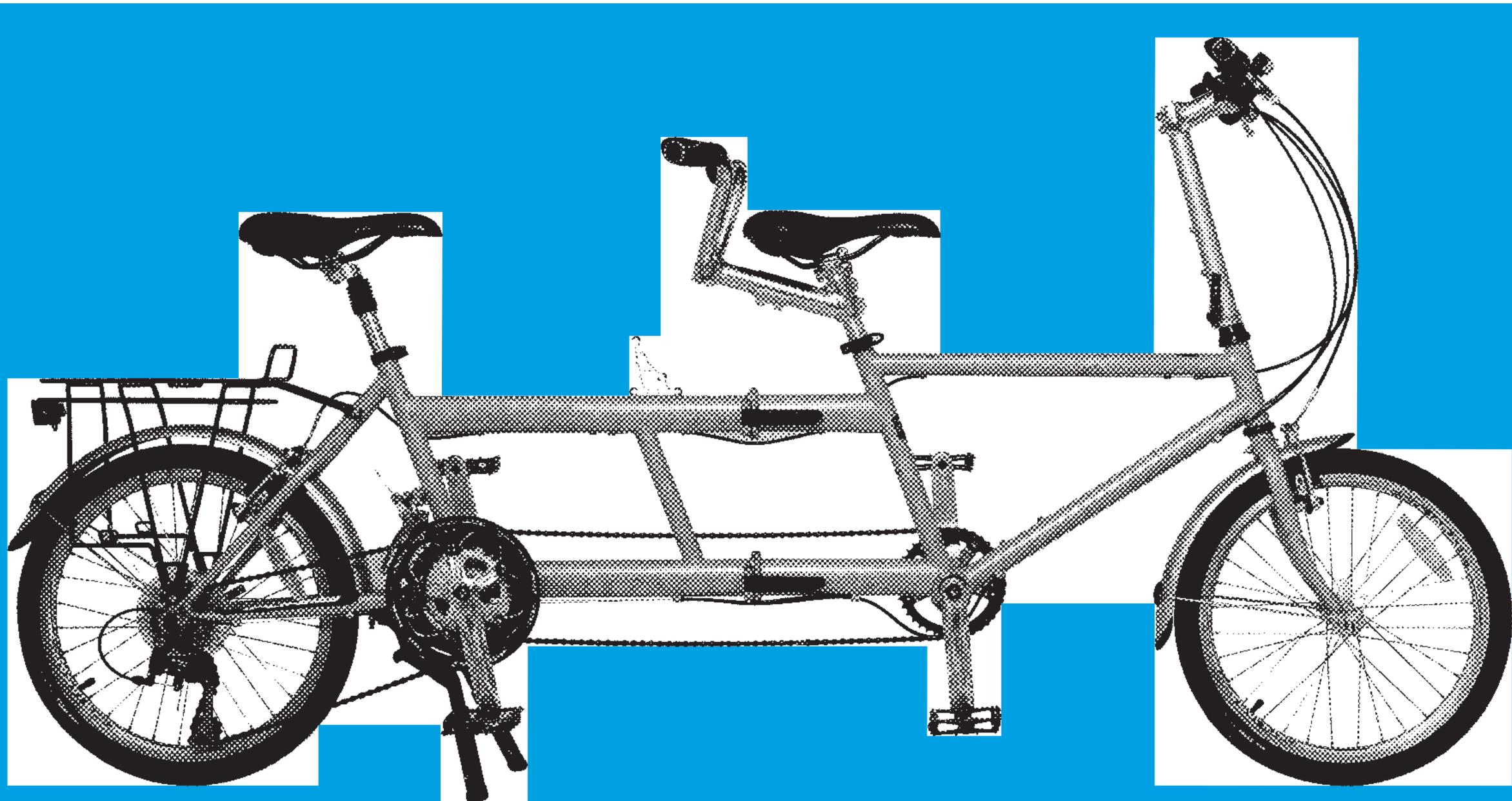
大阪でタンDEM自転車を楽しむ会
鈴木昭二

NPO法人サイクルボランティア・ジャパン(CVJ)
大島政廣

Life Interview

タンDEM自転車のある暮らし
小山結美

Published by Aozora Foundation



Tandem Bicycle with Us

タンデム自転車と私たち

複数人が前後に並んで乗り同時に駆動することができるタンデム自転車は、二人乗りのものが主流です。二人で力を合わせてペダルを漕ぐことにより、しんどさが半分に、楽しさが倍になります。子どもから大人、一人で乗るのが苦手な方まで、誰とでも一緒にサイクリングが楽しめます。

近年、そんなタンデム自転車を見かけることが増えました。一般公道での走行を許可する自治体が増えたり、家族や友人とタンデム・サイクリングを楽しむ人がいたり、東京パラリンピックでは、視覚ハンデクラスの競技の様子が中継されたり、いろいろな人が暮らしのなかでタンデム自転車を活用する機会が増えているのです。

本誌では、タンデム自転車を通じて活動してきた団体や日常生活の中で活用している方のインタビューを通して、リアルな活用のされ方や魅力を発信すると同時に、タンデム自転車と私たちの新しい関わり方やこれからの可能性を模索していきます。

人々の暮らしの中にタンデム自転車がより広がることで、障がいや年齢を問わない自由で楽しい移動が当たり前になる日が来ることを信じています。

藤江 徹 あおぞら財団 事務局長 / 「tandem」編集長





鈴木昭二 大阪でタンデム自転車を楽しむ会 会長

大阪でタンデム自転車を楽しむ会

「エコで誰もが楽しめる乗り物であるタンデム自転車の普及」を目的に大阪市・西淀川区を拠点にタンデム自転車の試乗会やレンタルサービス、サイクリングイベントなどを行っている。現在、会員・ボランティア募集中。

Web: <http://www.tandem-osaka.com> Facebook: <https://www.facebook.com/osaka.tandem>

Shoji Suzuki

鈴木昭二氏は、2012年の設立時から「大阪でタンデム自転車を楽しむ会」の会長を務めています。タンデム自転車との出会い、今までの活動についてお聞きしました。

どのようなきっかけで活動をはじめましたか？

2009年から活動していますが、きっかけは、本会の親団体である自転車文化タウンづくりの会に視覚障がい者の方が「一言申したい」と来られたことです。視覚障がい者にとって自転車は敵であって、歩道上の不法駐輪がジャマで歩けないし、後ろからぶつかっても黙って逃げてしまう、白杖を折られた経験がある視覚障がい者も多いことを言われました。しかし、最後に「一回、乗ってみたいねんけど」と言われたので、兵庫県の障害者タンデムサイクリング協会に試乗に行ったのが始まりです。その後、自分たちで体験会を開催してみたら、視覚障がい者の方が何名か乗りに来られて、笑顔で楽しんでいただきました。そして、いろんな所で活動していく中で2012年に八尾ライオンズクラブさんからタンデム自転車の寄贈を受けることになり、正式に会として発足しました。

どのような活動をされてきましたか？

「まずは、たくさんの人にタンデム自転車を知ってもらおう」という目標のため、視覚障がい者だけではなく、いろんな人が参加できる試乗会を主催したり、他所から呼ばれたりしながら、タンデム自転車の普及を続けてきました。親子や友達同士で乗ったり、事故もなく、年間700人前後は楽しんでもらえました。そのうちに、パイロットの育成、勉強会などにも取り組むようになる中で、周りの方々がボランティアで協力してくれるようになってきました。

節目となるような出来事はありましたか？

やはり、大阪府の道路交通規則が2016年8月に改正されたことでしょうか。それまでは、大阪府下では二輪のタンデム自転車では公道走行が認められていませんでしたが、タンデム自転車自体は安全で楽しい乗り物だし、「もっと自由に乗りたい!」という気持ちは、年々強まってきました。そこで、

同年5月に大阪府公安委員会に要望書を提出することになりました。すると、6月に走行検証会があって、8月には、規則が改正され、公道走行ができるようになりました。もっと早く言っておいたら良かったと思いました。それからは、どんどんサイクリングツアーなどを企画して、楽しみ方が広がっていきました。その結果「タンデム自転車に乗りたい!」という人も増えてきたと感じています。

自身にとってのタンデム自転車の魅力と未来。

私自身は、24歳で失明しました。タンデム自転車に乗ると「目が見えない自分にも自転車に乗れる」ということを実感できますし、パイロットの手伝いもあって、風を切って走る爽快感を取り戻すことができます。これはノーマライゼーションを具体化した姿だと思っています。今後、全国でタンデム自転車を楽しむ会が生まれ、つながっていく中で全国で公道走行が解禁になった暁には、「日本縦断タンデムリレー」をやりたいですね。



同会の藤江氏とサイクリングする鈴木氏



大島政廣 NPO法人 サイクルボランティア・ジャパン(CVJ) 副理事長

NPO法人 サイクルボランティア・ジャパン

世界を旅する日本人サイクリストたちによって結成された自転車活動団体。自身達が世界を自転車で旅する中で感じた生活道具や移動手段を超える自転車の魅力を多くの人に共有するため日々活動している。

Web: <http://cvjapan.org/wp3> Facebook: <https://www.facebook.com/cvj.japan>

Masahiro Oshima

サイクリングを通じて、国内外でボランティア活動を行うNPO法人サイクルボランティア・ジャパンの大島政廣氏。幅広い活動が見えてきました。

どのようなきっかけで活動をはじめましたか？

CVJは「自転車は人生を広める!!自転車の楽しさを多くの人に」を合言葉に2008年5月に発足しました。メンバー自身がサイクリングをしてきた人達。会の発足にあたって現在のCVJ理事長の竹沢先生と「本当のサイクリストと何か」を考える中で、「自分たちだけが楽しむのではなく、他の多くの人にこの楽しさを広げていくこと」ではないかと話し合いました。海外でのサイクリングでは現地の方にお世話になったり、優しさにふれました。振り返って、「自分の基盤の中でできることはないか」と考えて、自転車を通じたボランティアに取り組み始めました。

普段どのような活動をされていますか？

主な活動として、季節を楽しむ日帰りサイクリングや各地でのふれあいサイクルイベント、海外ランと国際交流、自転車を通じての社会貢献など、多岐にわたる活動を行っており、関東・関西・中国などで支部活動に取り組んでいます。

国際交流はどのようなものなのですか？

韓国では視覚障がい者団体と2回(蔚山・ソウル)のタンデム自転車交流会をはじめ、近年では、「台湾展翼視障天使協力車協会」¹の協力の下、日本から視覚障がい者のメンバーと一緒に、台湾タンデムサイクリングに毎年1~2回参加しています。台湾ではタンデム自転車が30台程度整備されており、コース設定やガイドが行き届いている上、安心して楽しむことができます。日本では、CVJがイベントを主催し、台湾からパイロット・視覚障がい者を招いて国際親善交流サイクリング(しまなみ海道、淡路島、宮崎県、山陰地方)を3回実施したり、台湾でハンドサイクルを活用する団体(生命勵楽活輔健會)との交流や岐阜県ひだ流葉スキー場で視覚障がい者と共にスキーを楽しむ活動を2回行ったりしています。

台湾におけるタンデム自転車や視覚障がいの方に対する考え方はどのようなものなのでしょうか。

台湾では、視覚障がい者は、「視障天使」と呼ばれ、みなと共に主人公であり、等しく楽しもうという考えのもと、障がい者の方に対して優しくフラットに接する人がとても多いです。また、タンデム自転車のイベント等をするときは、バリアフリーの観点から活動を応援してくれるスポンサー企業が見つかりやすかったり、電車での障がい者割引が充実していたりするなど、社会におけるバリアフリーに対する姿勢には感銘を受けますね。

これからに向けて一言。

自らの足で風を切り、その土地の空気を胸いっぱい吸い込みながら異文化に触れ、人々の交流を深める従来の自転車旅にプラスして、走行中に会話を楽しみながら、旅の達成感を共有できるタンデムの旅を国内・海外にもっと普及できればと考えています。

1:「タンデム自転車」のことを台湾では「協力車」と書く。



台湾のタンデムサイクリングに参加

タンデム自転車のある暮らし

タンデム自転車は、個人でも購入可能で、ほとんどの地域で一般道を走ることができます。タンデム自転車を個人所有し、活用されている小山結美さん(大阪府箕面市在住・合同会社エール代表)に、その魅力や暮らしについてお聞きしました。

どのようなきっかけで、タンデム自転車に乗り始めたのですか？

私はガイドヘルパーの仕事をしているのですが、2014年頃に、全盲の方が自転車に乗りたいと言うので、タンデム自転車を借りて大阪市西淀川区にある大野川緑陰道路を走ったのが最初です。日常的に目の不自由な方と関わるので、彼ら彼女らからタンデム自転車に乗ってみたいと声かけされることが増えるにつれ、パイロットとして同乗者へ適切な手引きができるようになりたいと思い、個人でタンデム自転車を購入し、乗るようになりました。

暮らしの中でタンデム自転車をどのように使用していますか？

息子とは、小学校一年生のころからタンデム自転車を利用しています。一緒に遠出をしたり、旅行に車で行く際にタンデム自転車を積んで行って、現地でサイクリングしながら時間を共有する等、いろんな形で楽しんでいます。また、最近、三人乗りのタンデム自転車も購入したので母を入れて親子三代で乗ったりもします。家族以外では、視覚障がいを持つ友達とプランを組んでタンデム小旅行をしたり、ロングライドイベントに出るなど、ただの移動道具としてではなく、人との時間や感覚を共有するものとして、よく使用しています。

タンデム自転車にどのような特徴を感じますか？

一般的な自転車では基本的に一人で何かをする喜びが中心になるのですが、タンデム自転車は、一緒に乗る人との時間を共有する点において特別だと思います。普段、家族や親しい友人達とタンデム自転車に乗ることが多いのですが、それは関係性の現れであって「大切な人と一緒に時間を共有したい」という感覚がそうさせているのだと思います。

タンデム自転車のこれからについて。

タンデム自転車自体は、まだまだ珍しいものという位置づけがありますし、はっきり言って、あっても無くても生活はできます。ロングライドのイベント等では、参加が認められないこともあります。色々課題はあるのですが、身近な方との「体験を共有する・分け合う喜び」を感じられる道具の一つとして、もっと多くの人に知ってもらえれば、嬉しく思います。



親子三代で公園をサイクリング



小山さんが所有するタンデム自転車たち





タンDEM自転車をレンタルしよう

大阪市西淀川区にてタンDEM自転車をレンタルできます。いきなりの運転が不安な方も自転車専用道がある大野川緑陰道路にて、楽しく安全に走行できます。

レンタル費用

営利 … 1日 ¥3,000円 / 1台

個人 … 1日 ¥1,000円 / 1台

予約方法

事前に電話にてご予約ください。

Tel: 06-6475-8885(あおぞら財団)

詳細URL: <http://tandem-osaka.com/rental>

貸出場所

公益財団法人 公害地域再生センター(あおぞら財団)

555-0013 大阪市西淀川区千舟1丁目1-1 あおぞらビル4F

E-mail: webmaster@aozora.or.jp

Fax: 06-6478-5885

<http://aozora.or.jp>



Duo (折り畳み可能)
長さ:200cm / 幅:59cm / 高さ:100cm / タイヤ:20inch



KHS T20 (折り畳み可能)
長さ:210cm / 幅:59cm / 高さ:110cm / タイヤ:20inch



KHS スポーツ
長さ:240cm / 幅:70cm / 高さ:105cm / タイヤ:26inch



継続は力なり タンDEM自転車界の先駆者 NPO法人 兵庫県障害者タンDEMサイクリング協会

「兵庫障害者タンDEMサイクリングを楽しむ会」(通称: 武庫川タンDEM)は兵庫県西宮市と尼崎市の境界を流れる一級河川武庫川の右岸西宮側に整備された「武庫川サイクリングロード」にて視覚などに障がいのある人たちがタンDEMサイクリングを楽しめるイベントです。毎年秋に開催されています。

主催する「NPO 法人兵庫県障害者タンDEMサイクリング協会」は、このようなタンDEM試乗イベントと共に、児童デイサービス施設等、他の地域や場所でも試乗会を開催しており、サイクリングの楽しさとともに、地域社会に対しタンDEM自転車の普及活動を行っています。

一人では自転車に乗ることができない障がい者に対し二人乗り専用のタンDEM自転車でのサイクリングを1998年から提供するなかで、兵庫県では2008年にタンDEM自転車の公道走行が解禁。団体としては2010年12月兵庫県より特定非営利活動法人の認証を取得しました。

誰でも気軽にタンDEM自転車を体験できる機会を長年にわたって創り続けています。試乗会や活動に興味があったり、タンDEM自転車をレンタル希望の方は、「NPO法人兵庫県障害者タンDEMサイクリング協会」まで、ご連絡ください。

レンタル等 相談・問い合わせ先

NPO法人 兵庫県障害者タンDEMサイクリング協会

Tel: 0798-20-4653

E-mail: showchang@sasafune.com

<https://www.facebook.com/tandem.cycling>



昨年イベントの様子